



「特別の教科 道徳」の全面 実施に向けて

小学校平成30年度, 中学校平成31年度から全面实施



「特別の教科 道徳」とは



考え, 議論する道徳とは



道徳科の評価

何が
変わるのか



今確認しておきたい3つのこと

重点内容項目

年間指導計画

全体計画の見直し



何が 変わるのか

なぜ「特別の教科」なのか？

教科化された背景は？

教科化によって変わることは？



なぜ「特別の教科 道徳」なのか？

小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から、「特別の教科 道徳」がスタートします。全面実施を前に、改めてこれまでに発行された文部科学省等の資料から、その内容を読み解いていきましょう。

「特別の教科 道徳」には、どうして「特別」と付いているんだろう？

「教科」とは異なるところがあるからです。「教科」では、専門免許（中学、高校）が必要ですが、「特別の教科 道徳」では、**専門免許は設けず、原則として学級担任が指導**します。また、**数値等での評価を行わず、文章での評価**となります。しかし、検定教科書を使うことに関しては、他の教科と同様となります。

検定教科書を使うことや評価を行うことは同じでも、免許や評価の表し方に違いがあるからなのですね。でも、どうして「教科化」する必要があったのですか？

参考 小（中）学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編
道徳に係る教育課程の改善等について（答申）：中央教育審議会（平成26年10月21日）
学習指導要領の一部改正に伴う小学校、中学校及び特別支援学校小学部・中学部における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）：文部科学省（平成28年7月29日）



教科化された背景は？

深刻ないじめ問題を発端に、その対策の1つとして「道徳教育を教科として位置付ける」ことが教育再生実行会議の提言に盛り込まれました。

この提言を受けて設置された有識者会議（※）では、道徳の「**教科化をすすめる理由**」として、**現行の道徳教育における指導法・内容のばらつき等の改善**が必要であることを挙げた上で、「**いじめ防止に大きな効果が期待できる**」こと、「**学校教育の真の中核としての役割を果たせるようにすべき**」などといったことが挙げられています。

なるほど。これまでの道徳の時間の反省などに基づいて、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育として、時数の確保や指導内容を含めた充実が期待されているのですね。

道徳の時間の改善

いじめ防止の推進

道徳教育の体系化・構造化

質的転換

特別の教科 道徳
(道徳科)

参考 今後の道徳教育の改善・充実方策について（報告）～新しい時代を、人としてより良く生きる力を育てるために～
：※道徳教育の充実に関する懇談会（平成25年12月26日）
いじめに正面から向き合う「考え、議論する道徳」への転換に向けて：文部科学大臣メッセージ（平成28年11月18日）



教科化によって変わること



教科化に伴って、目標も明確で理解しやすいものに改善されています。

道徳教育の目標	道徳科の目標
道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、 <u>自己の（人間としての）生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う</u> ことを目標とする。	道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる <u>道徳性を養う</u> ため、 <u>道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</u> ()内は中学校

道徳性 =

- 道徳的判断力→善悪を判断する能力
- 道徳的心情→道徳的価値の大切さを感じ取り、善行を喜び、悪を憎む感情
- 道徳的実践意欲と態度→価値があるとされた行動を取ろうとする傾向性

参考 小（中）学校学習指導要領（平成27年3月）第1章総則 第1の2
小（中）学校学習指導要領解説編 特別の教科 道徳編

道徳科の目標に示されているような学習（下線部）が、道徳科の目指す授業の姿ということになりますね。

そうですね。読み物教材の登場人物の心情理解に終始する授業や、児童生徒に望ましいと思われることを発表させたり、書かせたりする授業、単なる生活経験の話合いなどに終始する授業にならないように特に留意し、適切な指導の計画や方法を講じ、指導の効果を高める工夫をすることが大切です。

参考 道徳に係る教育課程の改善等について（答申）：中央教育審議会（平成26年10月21日）

これまでの「道徳の時間」の成果

- 学校の教育目標に即して充実した指導を重ね、確固たる成果を上げている優れた取組がある

「道徳の時間」の課題

- 登場人物の心情理解に終始する授業
- 価値の一方的な押し付け
- 単なる生活経験の話合い など
指導の格差が大きい



「道徳科の特質」を踏まえた学習

- 道徳的諸価値について理解する
 - 自己を見つめる
 - 物事を（広い視野から）多面的・多角的に考える
 - 自己の（人間としての）生き方についての考えを深める
- これらの学習を通して、内面的資質としての道徳性を主体的に養っていく時間

道徳科でも、主体的・対話的で深い学びが求められています。

- 価値理解、人間理解、他者理解
- 自己理解
- 他者との対話、協働

()内は中学校





引き継がれているものは？

「道徳教育」の考え方は変わりません。

- 学校における道徳教育は、教育活動全体で行うこと
- 道徳の授業（道徳科）がその要となること
- 改訂された内容項目は、道徳科だけでなく教育活動全体を通じて行う道徳教育でも指導する内容項目であること

「道徳科」には、以下のような

「道徳の時間」の特質が引き継がれています。

- ・道徳教育の要として計画的、発展的な指導によって補充、深化、統合する。
- ・道徳的価値について理解する指導を行う。
- ・自分との関わりで道徳的価値を捉え、あわせて自己理解を深めていくようにする。
- ・道徳的価値の理解を基に考え、物事を多面的に考え、主体的に学習に取り組むことができるようにする。
- ・道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。



考え、議論する道徳とは

主任、道徳科がスタートしたら、読み物教材を使った授業ではなく、問題解決的な学習や、体験的な学習をしなければならないんですね。授業の具体的なイメージがわなくて自信がないです。

道徳科の解説編を読んだのね。でも、ちょっと誤解があるみたい。
問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習は、子供たちが道徳的価値について主体的に考えることができるようにするための質の高い指導法の例として挙げられているものなの。毎回必ず行うという意味ではないわよ。

そうなんですか。今までの授業ではだめなのかと心配になっていました。

そんなことないわ。「道徳の時間」の特質をしっかり理解して指導してきたのなら、**道徳科になっても変わることはない**の。道徳性は一朝一夕に養われるものではないから、より効果的な指導方法を考えて、計画的に毎時間積み上げていくことが大切ね。

それでは、どのような指導方法を考えていけばよいのでしょうか？

道徳科の話合い活動の中で、**道徳的価値の大切さを理解したり、自分との関わりで捉えたり、ねらいとする道徳的価値について多様な考えに触れ**、これからの在り方について考えたりできるようにするために、**道徳的価値についての自分の考えを持ち、比較・検討ができる機会**を持たせます。

なるほど。読み物教材をきっかけにして価値理解や自己理解を深めるには他者との話合いが大切ですね。それを計画的に積み上げるといことか。いいヒントをありがとうございます！

でも、話合いが目的になっては本末転倒だな。**価値理解、人間理解、他者理解、そして自己理解が深まるような話合いを構成**するのがポイントか。

参考 「特別の教科 道徳」の指導方法・評価等について（報告）
：道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議（平成28年7月22日）

もう1つ大事なことは、「道徳の特質を生かした計画的・発展的な指導」の中で、これまで使われていた「補充・深化・統合」について分かりやすい記述に改められているわ。**各教科等で道徳教育としては取り扱う機会が十分でない内容項目に関わる指導を補うこと、児童や学校の実態等を踏まえて指導をより一層深めること、内容項目の相互の関連を捉え直したり発展させたりすることに留意**することが示されているわね。そこも押さえないポイントね。



道徳科の評価



道徳科の評価とは？

まずは、評価について改めて見直してみましょう。

道徳科の学習評価に関する基本的な考え方については、平成28年7月の通知(※)でも、「具体的には以下の5点に留意し、学習活動における児童生徒の『学習状況や道徳性に係る成長の様子』を、観点別評価ではなく個人内評価として丁寧に見取り、記述で表現することが適切である」と示されているわよ。



1. 児童生徒の人格そのものに働き掛け、道徳性を養うことを目標とする道徳科の評価としては、育むべき資質・能力を観点別に分節し、学習状況を分析的に捉えることは妥当ではないこと
 2. このため、道徳科については、「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める」という学習活動における児童生徒の具体的な取組状況を、一定のまとまりの中で、児童生徒が学習の見通しをもって振り返る場面を適切に設定しつつ見取ることが求められること
 3. 他の児童生徒との比較による評価ではなく、児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として記述式で行うこと
 4. 個々の内容項目ごとではなく、大くりなまとまりを踏まえた評価とすること
 5. その際、道徳教育の質的転換を図るという今回の道徳の特別教科化の趣旨を踏まえれば、特に、学習活動において児童生徒がより多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視することが求められること
- () 内は中学校

参考 ※学習指導要領の一部改正に伴う小学校、中学校及び特別支援学校小学部・中学部における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）：文部科学省（平成28年7月29日）

道徳科の評価はあくまでも道徳科の中で見られた学習状況や道徳性に係る成長の様子をある程度の期間で見取って、特に顕著と認められる部分を書くことですね。併せて、授業評価を次の指導に生かすことも忘れてはいけませんね。



そうですね、道徳科の指導は、道徳性の性格上、1単位時間の指導だけでその成長を見取るのは難しいので、慎重かつ計画的に取り組む必要があるわね。

そうそう、道徳科の授業で児童が伸びやかに自分の考えを述べたり、友達の考えを聞いたり、様々な表現ができるには、何より日々の学級づくりが大切よ！

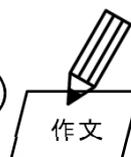


では、皆さんの学校では、
・道徳科の中で見られた学習状況
・道徳性に係る成長の様子
をどう見取っていきますか？
方法と観点について共通理解を図っておく必要があります。

方法としては…



会話



などによる評価の蓄積が考えられます。

併せて、蓄積した評価を材料にどのように文章で記述するかを、全面実施を前に話し合い、学校としての共通理解を図ることも必要です。
文部科学省の「道徳教育アーカイブ」に参考になる実践事例が掲載されています。



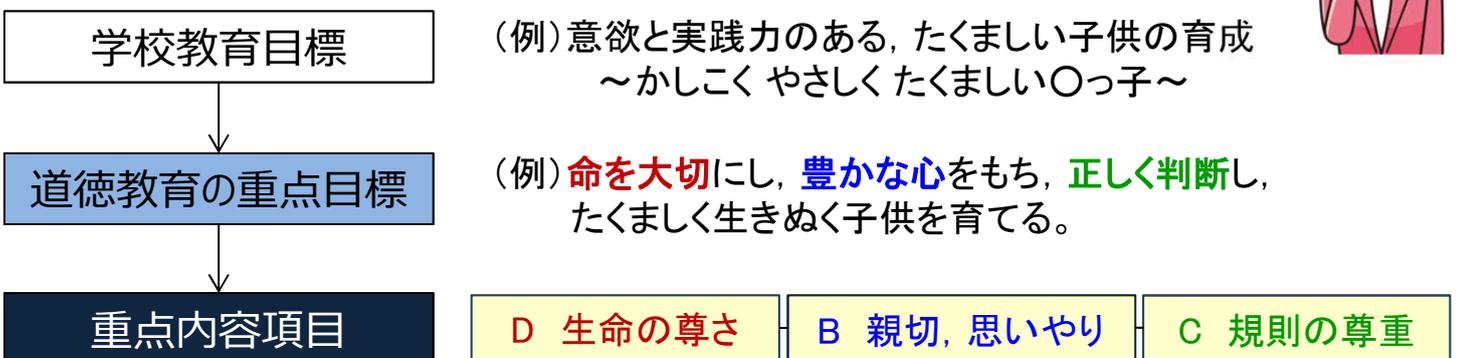


わたしの学校の重点内容項目は？

参考 小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 23ページ
 中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 21ページ

各学校においては、児童生徒や学校の実態、学校の特色などを考慮し、重点的指導を工夫する必要があります。重点的指導とは、学習指導要領に示されている各学年段階で重点化されている内容項目や学校として重点的に指導したい内容項目をその中から選び、教育活動全体を通じた道徳教育において具体的な指導を行うことです。

校長の方針の下、児童生徒や学校の実態、学校の特色などを考慮し、学校で重点的に指導する内容項目を定めます。教員一人一人が、教育活動全体を通じて道徳的価値を意識しながら重点内容項目を踏まえた指導を工夫することで、より児童生徒の実態に応じた適切な指導につながります。



この例では、「命を大切に」「豊かな心」「正しく判断」にポイントがありますので、22の内容項目（小学校高学年）のうち、特に「D 生命の尊さ」「B 親切、思いやり」「C 規則の尊重」と深く関係しています。

このように、学校教育目標等を基に、道徳教育の重点目標に含まれる道徳的価値を明らかにし、重点内容項目を設定しましょう。なお、重点目標を設定する際には、改訂の趣旨や改訂された道徳教育の目標、各学年段階における留意事項などを確認することが必要です。

その際、教育活動全体を通して全職員が普段から意識できるように、内容項目を精選することが、結果的に指導の効果を高めることにつながります。

道徳教育の重点目標 (例)	対応する内容項目 (例)
☆ 目標に向かって粘り強く努力する	A 希望と勇気、努力と強い意志 など
☆ 自他の思いを大切ににする	B 相互理解、寛容 など

小学校高学年の場合、4つの視点で22の内容項目がありますが、年間35時間の中で全ての内容項目について指導します。重点的に指導したい内容項目の時数を多く取ったり、何回かに分けたりして指導するなどの工夫が可能になります。



参考 小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 20～23ページ
 中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 19～22ページ

義務教育課のホームページに道徳教育の重点内容項目確認シートを掲載しています。あなたの学校の重点内容項目について考えてみましょう。



全体計画の見直しが必要になります！

参考 小学校学習指導要領解説 総則編 4,17ページ
中学校学習指導要領解説 総則編 4,17ページ

道徳教育は、道徳科を要として学校の教育活動全体で行うことから、**全体計画を作成して全教員が協力して道徳教育を行うこと**、また、**各教科等で道徳教育の指導の内容及び時期を示すこと**が求められています。

学校の道徳教育の全体計画や道徳教育に関する諸活動などの**情報を積極的に公表すること**、家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携を図ることが示されたことから、改訂の趣旨を踏まえ、全体計画の見直しが必要になります。

全体計画は、学校における道徳教育の基本的な方針と教育活動全体で行う道徳教育の目標を達成するための方策を総合的に示した教育計画です。

作成に当たっては、**校長の明確な方針の下に、道徳教育推進教師が中心となり、全教員が参加、協力し、作成します。毎年、全教員で内容を確認することが重要**です。

一般的な全体計画の内容は、以下のとおりです。



次ページへ



別葉をつくる意義は？

参考 小学校学習指導要領解説 総則編 19ページ
 中学校学習指導要領解説 総則編 19ページ

全体計画を一覧表にして示す場合は、必要な各事項について文章化したり具体化したりしたものを加えるなどの工夫が望まれます。例えば、各教科等における道徳教育に関わる指導の内容及び時期を整理したもの、道徳教育に関わる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるもの、道徳教育の推進体制や家庭や地域社会等との連携のための活動等が分かるものを別葉にして加えるなどして、年間を通して具体的に活用しやすいものとする考えられます。

別葉の作成

学習指導要領解説 総則編には、次のような内容例が示されています。

- 各教科における道徳教育に関わる指導の内容及び時期を整理したもの
- 道徳教育に関わる体験活動や実践活動の時期等が一覧できるもの
- 道徳教育の推進体制や家庭や地域社会等との連携のための活動等が分かるもの

例えば、次のような様式が考えられます。

時系列で、内容項目と教育活動全体との関連を明らかにしたもの

重点内容項目を中心に、内容項目の系統性を明確にしたもの

道徳科における全ての内容項目と、学校の教育活動の関連を明らかにしたもの

<別葉の作成例>

美里町立小牛田中学校（平成28年度豊かな心を育てる研究指定校）

【2年】

学校の重点指導内容項目：A-(3)向上心、個性の伸長 B-(6)思いやり、感謝 C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実

内容項目	道徳の時間	特別活動		
		学級活動	生徒会活動	学校行事
A (3) 向上心、個性の伸長	<誠意ある行為> 金語楼さんのこと(12月) <自立と責任> 一人しかいない自分(2月)	中堅学年としての心構え(4月)		
	<望ましい生活習慣> ばなしの女王(5月)	心とからだの健康(7月)		
(4) 希望と勇気、克己と強い意志	<反省と向上> 11月(10月) <自己の向上> ☆二階堂トクヨー女子体育を広めてー(8月)	自己を見つめよう(5月) 自分を見つめ直す(6月) 立志式に向けて(私の将来)(11月)	生徒会選挙(9月)	立志式(12月)
	<着実にやり抜く意志> ハチドリへのひとしずく(4月) <広い心でくじけずに> ☆落合直文ー短歌を多くの人に広める(9月)		中総体壮行式・中総体報告会(6、9月)	入学式(4月) 始業式(4、8、1月) 終業式(7、12、3月) 中総体(6、9月)
真理の探究、創造	<理想の実現> 左手でつかんだ音楽(11月)			
思いやり、感謝	<思いやる心> 心に寄りそう(5月) <愛と感謝> 愛(9月)	3年生を送る会(1月) お世話になった人へ(12月)		

重点内容項目に色を付け、意識化を図っています。

道徳科と教育活動の関連が見やすくなります。

全体計画の別葉作成の意義

- 各教科等での道徳教育の充実
- 道徳科の役割(補充、深化、統合)の明確化

内容項目から横に見ていくことで、「この授業で2つの行事での指導を統合しよう」など、道徳の授業との関連を意識しやすくなりました。



年間指導計画の作成のポイントを教えてください。

参考 小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 70ページ～
中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 69ページ～

年間指導計画は、道徳科の指導が、道徳教育の全体計画に基づき、児童生徒の発達の段階に即して計画的、発展的に行われるように組織された全学年にわたる年間の指導計画です。具体的には、道徳科において指導しようとする内容について、児童生徒の実態や多様な指導方法を考慮して、学年段階に応じた主題を構成し、この主題を年間にわたって適切に位置付け、配列し、学習指導過程等を示すなど授業を円滑に行うことができるようにします。

どんな点に注意して年間指導計画を作成すればよいのですか？



小学校で使用する教科書は平成29年度、中学校で使用する教科書は平成30年度に採択が行われ、平成30年度から小学校、平成31年度から中学校で主たる教材として教科書を使用することになります。
ですから、**教科書の教材を中心とした新たな年間指導計画を作成することが必要**となります。



今までの年間指導計画の一部修正や教科書会社が作成する年間指導計画の活用で対応することはできないのでしょうか？

各学校では、校長の方針の下、**児童生徒や学校の実態、地域の特色などを考慮して全体計画を作成し、学校独自で重点的に指導する内容項目**を定めます。その内容項目は授業で複数回扱うので、年間指導計画で効果的な教材の配置や教科書以外に使用する教材を示す必要が出てきます。
ですから、今までの年間指導計画の一部修正や教科書会社が作成する年間指導計画の活用で対応することは難しいと思います。



同じ教科書を使用しているも、重点内容項目が異なるので、学校ごとに年間指導計画も違ってくるといことですね。その他に年間指導計画を作成する場合に配慮することはありますか？

学習指導要領では、各学校においては、**道徳教育の全体計画に基づき、各教科、外国語活動（中学校除く）、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら**、道徳科の年間計画を作成するものと示されています。
なお、作成に当たっては、**相当する学年においては、内容項目について全て取り上げる**こと、その際、児童（生徒）や学校の実態に応じ、2学年（3学年）を見通した重点的な指導や内容項目間の関連を密にした指導、1つの内容項目を複数時間で扱う指導を取り入れるなどの工夫を行うことなどが示されています。
()内は中学校



年間指導計画は弾力的に扱っていいのですか？



参考 小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 72ページ～
中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 71ページ～

年間指導計画を活用しやすいものにし、指導の効果を高めるために、作成上、特に創意工夫し留意すべきこととして以下のことが挙げられます。

「主題の設定と配列を工夫する」「計画的、発展的な指導ができるように工夫する」「重点的指導ができるように工夫する」「各教科等、体験活動等との関連的指導を工夫する」「複数時間の関連を図った指導を取り入れる」「特に必要な場合には他学年段階の内容を加える」(小学校)「計画の弾力的な取扱いについて配慮する」「年間指導計画の評価と改善を計画的に行うようにする」

年間指導計画は、学校の教育計画として意図的、計画的に作成されたものですから、指導者の恣意による不用意な変更や修正が行われるべきではありません。**変更や修正を行う場合は、児童生徒の道徳性を養うという観点から考えて、より大きな効果を期待できるという判断を前提として、学年会などによる検討を経て校長の了解を得ることが必要です。**そして、変更した理由を備考欄などに記入し、今後の検討課題にすることが大切です。

分かりました。子供たちのために年間を見通して計画した内容ですからね。変更を検討するときは、相談してみます。



<年間指導計画の例>

美里町立小牛田中学校 (H28豊かな心を育てる研究指定校)

第2学年 道徳年間指導計画

月	週	主題名	資料名	2学年関連行事	学年の計画																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
<p>2学年重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の気持ちや立場を考えた行動ができるようにする。B-(6) 集団の中での自分の役割と責任を自覚して、よりよい学級集団をつくるように努める。C-(15) 長所を伸ばすと共に、自己の向上を図る。A-(3) 					<p>各教科との関連</p>																					
4	1	身近な国際理解	私にできること「今の私」中「この自分」	始業式																						
	2	音楽にやり抜く意志	ハチドリの一ひとしづく	入学式																						
	3	友に学ぶ	クマのぬいぐるみと私	習字式																						
5	1	礼儀の大切さ	あいさつ	新体力テスト																						
	2	望ましい生活習慣	ばなしの女王	避難訓練																						
	3	思いやる心	心に寄りそう	生徒総会																						
6	1	母校の誇り	四十七年に感謝をこめて	郡中総体、郡陸上大会																						
	2	人間の尊厳	奇跡の一週間	地震想定避難訓練																						
	3	郷土を愛する心	祭り之夜	期末考査、ボランティアデ																						
	4	人と人との交わり	遠足で学んだこと	地区生徒集会																						
7	1	きまりを守る	許さない心	授業参観																						
	2	自己の向上	二階堂トクヨ 女子体育を広めて	大運動会																						
8	1	愛と感謝	愛	郡駅伝大会																						
	2	温かい家庭	ごめね、おばあちゃん	郡新人大会																						
	3	広い心でくじけずに	落合直文 船載を多くの人に広める一	生徒会役員選挙																						
	4	差別・偏見の克服	伸よく暮らそう																							
10	1	感謝をあらわす	バスに乗って	中間考査																						
	2	ともに支え合う	震災の中で	合唱コンクール																						
	3	身近な日本の文化	Dream Autumn Dreams (Momiji)	学芸発表会																						
	4	反省と向上	十一月	職場訪問																						
11	1	新しい生命	株に	教育相談																						
	2	集団生活の向上	みんなでとんだ!	期末考査																						
	3	自然と人間	冬の使者「マガン」	ボランティアデー																						
	4	理想の実現	左手でつんだ音楽																							
12	1	誠意ある行為	金語様さんのこと	終業式																						
	2	相手の立場で	なみだ																							
1	1	健全な異性観	「たまたま女に生まれただけ」	始業式																						
	2	人間の気高さ	良心のたたかい																							
	3	公善に抗して	渡良瀬川の氾濫																							
2	1	人々のために	われ、ここに生きる	学年末テスト																						
	2	よりよい社会の実現	住みよい社会に	3年生を送る会																						
	3	自立と責任	人しらない自分																							

学年の計画です。時系列で主題名を並べ、内容項目との関連が一覧できます。

各時間の計画です。より詳しい内容が読み取れます。

【13】	主題名	愛と感謝	指導時期	9月
	資料名	愛	出典	東書 目をひらく(p60)
	内容項目	A-(6)思いやり、感謝	他の教育活動との関連	理科、保健体育、学級活動
ねらい	人間愛の精神を深め、互いに感謝と思いやりの心を持って生きようとする心情を育てる。			
主題設定の理由	人は互いに助け合い、協力し合って生きているのであって、自分が現在いるのも多くの人々に支えられているおかげだという認識が大切である。中学生の時期は、自分にかかわりのある人とそうでない人とを区別しがちであるが、他者に対して感謝と思いやりの心を持って接することの大切さを理解できるようにしたい。			
導入	1 臓器移植について知っていることを発表し合う。 ○臓器移植について知っていることを発表してみよう。			
展開	2 「愛」を読んで話し合う。 ○人工透析とは、どのようなことか。 ○健おじさんが、腎臓を提供しよう決心するまでに、どのようないきさつがあっただろうか。 ○自分を犠牲にしてまで人を助けることのできる心こそ、ほんとうの人間愛、というだろうか。 ○自分のやさしさや勇気は、どのような気持ちや考えから出てくるのだろうか。 ○「愛」をとおして、どのような学級活動ができたか、まとめてみよう。			

<年間指導計画の内容>

- 指導の時期
- 主題名
- 教材
- 主題構成の理由
- 学習指導過程と指導の方法
- 他の教育活動等における道徳教育との関連
- その他(保護者や地域の方の参加・協力の計画等)

全面実施に向けての 確認・準備



全面実施に向けては、
道徳教育推進教師を中心
に学校全体で取り組む
ことが大切です。



私は道徳教育推進教師ですが、全面実施に向けて今から何をやっていけばよいのか不安です…。教科書を初めて使うようになるし。学校全体で計画を作成するためには、どうしていけばよいでしょうか？

まずは、校長の方針の下に、学校の全ての教員が協力しながら進めていく道徳教育を実現するために、**チームづくり**と**共通理解を深める活動**から始めませんか。

具体的には何から始めたらよいでしょうか？

まずは**一緒に道徳教育の重点目標について考えるワークショップ**を開いてはどうでしょう。子供たちの現状と、目指す姿について話し合えば教員の目標に対する理解もはっきりしてくるはずです。
ワークショップを通して、教員同士の相互理解も深まりますよ。



なるほど。まずは**目標の共有**ですね。それが重点内容項目の設定につながりますね。そうか！分かってきました。そうすると、使用する教科書に合わせて学年部で年間指導計画を作成することもできる！先輩どうでしょう？

それはいいね。まずは、自分たちの学校の目指す子供の姿を考えようか。

ありがとうございます！早速準備に取り掛かろうと思います！



重点内容項目 設定の意義

- 学校教育活動全体を通して、全教員による一貫性のある道徳教育が組織的に展開できる。
- 指導が必要な場面でのめあてや振り返りの視点がぶれなくなる。

全体計画と 別葉の意義

- 各学校の特色や実態及び課題に即した道徳教育が展開できる。
- 学校における道徳教育の重点を明確にして推進することができる。
- 道徳教育の要としての道徳科の位置付けや役割が明確になる。
- 全教員による一貫性のある道徳教育が組織的に展開できる。
- 家庭や地域社会との連携を深め、保護者や地域の人たちの積極的な参加や協力を実現する。

- 各教科等での道徳教育の充実とあわせて、道徳科における補充、深化、統合がより明確に行えるようになる。

年間指導計画の意義

- 小学校6年間、中学校3年間を見通した計画的、発展的な指導を可能にする。
- 個々の学級において道徳科の学習指導案を立案するよりどころとなる。
- 学級相互、学年相互の教員間による校内研修などの手掛かりとなる。

参考になる資料 (道徳教育関連)

文部科学省

- ・ 道徳教育
- ・ 「中学校道徳 読み物資料集」について (通知) 平成24年3月16日
- ・ 小学校道徳 読み物資料集 平成23年3月
- ・ 中学校道徳 読み物資料集 平成24年3月
- ・ 一部改正学習指導要領 小学校 総則 平成27年3月告示
- ・ 一部改正学習指導要領 小学校 道徳 平成27年3月告示
- ・ 一部改正学習指導要領 中学校 総則 平成27年3月告示
- ・ 一部改正学習指導要領 中学校 道徳 平成27年3月告示
- ・ 新学習指導要領 小学校 総則 平成29年3月告示
- ・ 新学習指導要領 小学校 道徳 平成29年3月告示
- ・ 新学習指導要領 中学校 総則 平成29年3月告示
- ・ 新学習指導要領 中学校 道徳 平成29年3月告示
- ・ 小学校学習指導要領解説 総則編 (抄) 平成27年7月
- ・ 小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 平成27年7月
- ・ 中学校学習指導要領解説 総則編 (抄) 平成27年7月
- ・ 中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 平成27年7月
- ・ 「特別の教科 道徳」の教科書検定について 平成27年7月
- ・ 「特別の教科 道徳」の指導方法・評価等について (報告) 平成28年7月22日
- ・ 学習指導要領の一部改正に伴う小学校、中学校及び特別支援学校・小学部・中学部における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について (通知) 平成28年7月29日
- ・ 考える道徳への転換に向けたワーキンググループにおける審議の取りまとめについて (報告) 平成28年8月26日
- ・ 次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめについて (報告) 平成28年8月26日
- ・ いじめに正面から向き合う「考え、議論する道徳」への転換に向けて (文部科学大臣メッセージ) について
平成28年11月18日
- ・ 小学校及び中学校の学習指導要領等に関する移行措置並びに移行措置期間中における学習指導等について
(通知) 平成29年7月7日
- ・ 「道徳教育アーカイブ」 <https://doutoku.mext.go.jp/>



文部科学省



宮城県教育委員会

- ・ みやぎの道徳教育
- ・ みやぎの志教育
- ・ 豊かな心を育てる研究指定校事業
- ・ みやぎの志教育プラン
- ・ みやぎの先人集「未来への架け橋」
- ・ 道徳教育推進協議会からの提案
- ・ 「一人一人の心に寄り添う道徳の時間のために」
- ・ 総合教育センター教育データライブラリ

みやぎの道徳教育

